

# 岩手日報

発行所 岩手日報社  
本社 盛岡市中央1-1  
電話 3131  
支社 盛岡市山崎町20番地  
創刊 1961年

# 県北沿岸に山火事の猛威

## 民家八百余に延焼

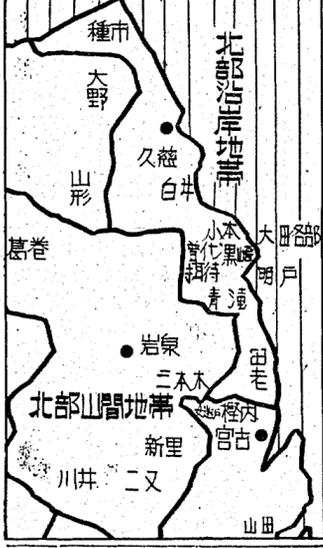
### 死傷十三人 山間部落なめ尽す

二十九日午後から翌一日にかけて強風が吹き荒れる中で、宮古市、下閉伊郡、久慈市の県北沿岸一帯に山林火災が燃発。おりの平均風速一〇メートル、瞬間最大風速三〇メートル以上の猛風にあおられて燃え広がる一方で、下閉伊郡田老町ラサ工業田老製薬所の製薬地帯の四百四十八戸を全焼したのをはじめ山間の部落をつぎつぎと襲い、旧岩泉町、旧田老町の住宅密集地帯も危険にさらされている。三十日午前二時現在風は弱まったが、なお各所で燃え続け、旧岩泉町、旧田老町の住宅密集地帯も危険にさらされている。死者、行方不明二人、重傷三十一人が出ている。

## 五百戸を全焼

### 田老鉾山 全滅に瀕す

二十九日午後、田老鉾山に火災が燃発し、山頂から山麓にかけての山林が燃え広がる。山麓には田老鉾山製薬所の製薬地帯があり、四百四十八戸が全焼した。山頂には田老鉾山製薬所の製薬地帯があり、四百四十八戸が全焼した。山頂には田老鉾山製薬所の製薬地帯があり、四百四十八戸が全焼した。



## 宮古では百戸

### 国道も火の海で途絶

宮古市では、二十九日午後、山火事が燃発し、市内の住宅密集地帯に延焼した。死者、行方不明二人、重傷三十一人が出ている。国道も火の海で途絶した。

## 自衛隊、現地へ急行

### 久慈でも山火広がる

自衛隊は、二十九日午後、宮古市に急行し、山火の被害を軽減するために活動した。久慈でも山火が燃発し、山間の部落に延焼した。

## 四部落をひとなめ

### 旧町無事 岩泉では六十七戸

四部落のうち、旧町は無事だったが、岩泉では六十七戸が延焼した。山火の被害は、山間の部落に広がっている。

## 八戸で四百戸 延焼中

八戸市では、二十九日午後、山火事が燃発し、市内の住宅密集地帯に延焼した。死者、行方不明二人、重傷三十一人が出ている。

## 普代村でも百戸

### 黒崎小など全焼 県警集計

普代村では、二十九日午後、山火事が燃発し、市内の住宅密集地帯に延焼した。死者、行方不明二人、重傷三十一人が出ている。

## 連続放火

### 三三三番とけき盛岡で三件

盛岡市では、二十九日午後、連続放火が三件発生した。被害者は一人、行方不明一人、重傷一人が出ている。

## 農林部を分離 六部制

### 執行部 幹事会で意見一致

農林部を分離し、六部制とする案が、執行部の幹事会で意見一致で決定された。これは、行政改革の一環として行われる。

### 社説

#### 日教組の新しい運動方針

日教組は、二十九日、新しい運動方針を発表した。これは、教育の民主化と、教員の地位の向上を目的としている。

### きょうの要旨

対策を協議  
岩手日報は、二十九日、山火事の被害軽減のために、関係機関と協議を行った。

### 補正予算案を可決

参院予審委  
参議院予備審査委員会は、二十九日、補正予算案を可決した。

### 人事消息

盛岡市では、二十九日、人事異動が行われた。

### 風土計

盛岡市では、二十九日、風土計が発表された。